

2025年11月2日

大阪音楽大学

NEWS RELEASE

【大音祭 2025 事後レポート】

来場者数 3500 人超え！

音楽で繋がる庄内一番の音楽エンターテインメント



大音祭 2025 のフォトスポット看板。左から正門前、第2キャンパス入口

大阪音楽大学（所在地：大阪府豊中市、学長：森本友紀）大音祭実行委員会（以下、実行委員）は、2025年11月2日（日）、大阪音楽大学大学祭『大音祭 2025（以下、『大音祭』）』を開催しました。

学生自治会が主導となり、50名の実行委員によって企画・運営された今年度の『大音祭』。「音楽を通じて地域とのつながりを育み、学生と地域の人々が共に楽しみ・支え合う関係を築く。」をテーマに庄内一の音楽エンターテインメントを目指しました。

大音祭の目玉である全 20 組の学生による演奏は、どれみステージ・ふあそらステージ（第 1 キャンパス中庭）、ミレニアムホール（第 2 キャンパス）、リズムステージ（第 2 キャンパス）の計 4 ステージで実施しました。さらに学生による 14 の飲食屋台に加えて、庄内地域の飲食店や団体を中心とした 6 つの外部屋台も出店し、充実したグルメをお楽しみいただくことが出来ました。

お子様にも人気の 8 つのアミューズメント企画、そして庄内地域の店舗・団体による 3 つの体験企画も実施され、幅広い年代の来場者にお楽しみいただける内容となりました。

大音祭のフィナーレでは、Nintendo Switch や AirPods などの豪華景品が当たるbingo大会を開催し、大きな盛り上がりの中でイベントを締めくくりました。

その結果、来場者数は約 3500 人を超える、昨年比で約 1500 人増という大成功を収めることができました。

【『大音祭 2025』特設ステージ】

昨年は実行委員から学生に出演を依頼していましたが、大盛況の大音祭 2024 を受けて今年は学生から出演希望の声が多く上がりました。

● どれみステージ／ふあそらステージ（中庭）



写真はふあそらステージでのbingo大会の様子。

中庭は大音祭をさらに盛り上げるため、今年度よりステージを増設し、2 ステージ制で実施しました。ステージの転換時間短縮により 1 日中音楽が鳴り響く空間を作り上げることができ、より"音大らしい"学園祭となりました。

DJ、バンド、弾き語り、トロンボーンカルテット、ミュージカルゴスペルなど、計9組の学生がパフォーマンスを披露し、最後は500人以上が参加したbingo大会で幕を閉じました。

パンフレットに同封した宝探しのスタンプカードを完成させることでbingoカードが受け取れる仕組みとしたため、多くの来場者がスタンプを集めるために学内各所を巡り、さまざまな企画や屋台を楽しむきっかけにもなりました。



どれみステージでの演奏の様子。写真は『ミューゴス』によるパフォーマンス。

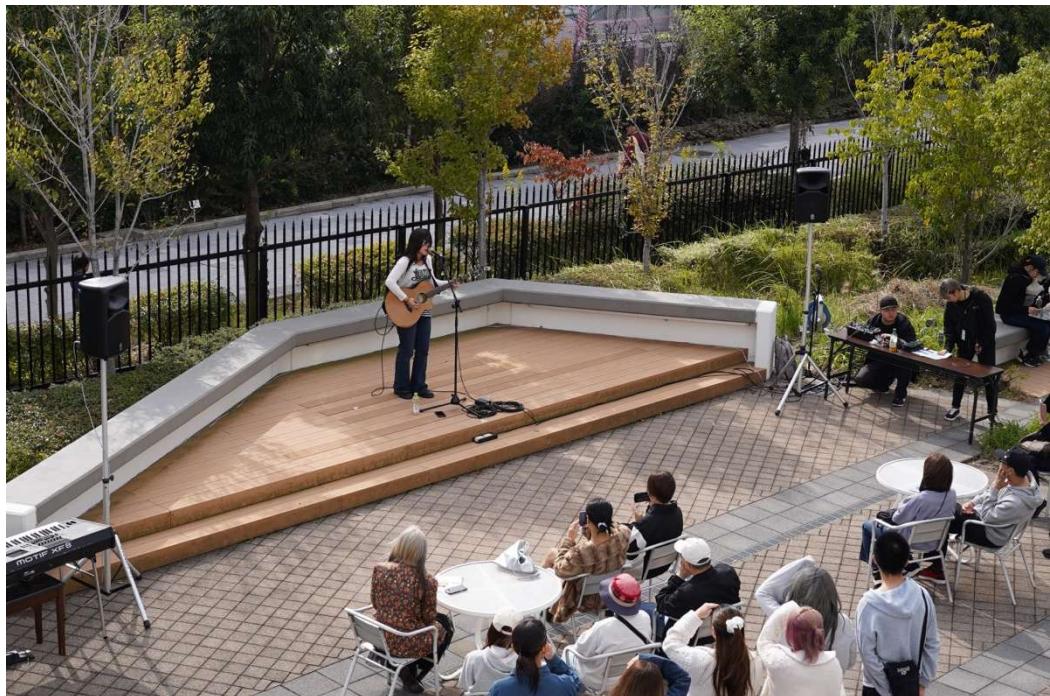
● ミレニアムホール（第2キャンパス）



ミレニアムホールでのコンサートの様子。写真は『大阪音楽大学付属音楽幼稚園』によるパフォーマンス。

ミレニアムホールでは、クラシックから邦楽まで多様なジャンルの演奏を計5組の学生が披露しました。さらに、昨年に続き、大阪音楽大学付属音楽幼稚園、ザ・カレッジ・オペラハウス少年少女合唱団、Coro CARINE（声楽専攻の学生による合唱団）の3団体によるコラボ合唱も実現しました。今後も大音祭が、大音生と庄内地域の子どもたちとの交流を育むひとつの場としてあり続けられるよう目指していきます。

- リズムステージ（第2キャンパス）



リズムステージでの演奏の様子。写真は『涼 音遣』によるパフォーマンス。

リズムステージも今年度新たに増設されたステージです。ここでは、2組の弾き語りと1組のマジシャンによるパフォーマンスをお楽しみいただきました。中庭のにぎやかな雰囲気とは対照的にゆったりと心地良い時間が流れる空間になりました。

また、計4つのステージパフォーマンスに加えて、正門前では開場後すぐにウェルカムパフォーマンスを行い、ご来場者の期待感を高めました。さらにbingo大会終了後にはゲリラパレードも実施し、帰宅後も余韻が続くような満足度の高い演出を行うことが出来ました。



1枚目：正門でのウェルカムパフォーマンスの様子

2枚目：ゲリラパレードの様子

- 【屋台出店】



第一キャンパス中庭での屋台出店の様子。

第一キャンパスの正門前、中庭と第二キャンパスのK号館前の3箇所に屋台を設置しました。焼きそばやチャーハンなどグルメをはじめ、クレープ、コーヒーといったスイーツやドリンクまで、学生による幅広い屋台が出店しました。また、学生が日頃からお世話になっている庄内地域の飲食店や団体による出張出店も実現し、地域とのつながりをより深める機会となりました。

さらに、森ノ宮キューズモールやRADIO CRAZY、大阪・関西万博でも開催されてきた大人気のパンフェス「パン天国」（企画：キョードー大阪様）が今回の大音祭にて開催され、2店舗のパン屋さんが大音祭に登場しました。パン天国としても初めて学園祭での開催ということで、大音祭限定のパンをご用意いただき、多くのお客様にパンと音楽をお楽しみいただくことが出来ました。

大音祭をきっかけに、「屋台で食べて気に入ったお店に足を運んでみる」といった新たな出会いや交流が生まれたことも大きな成果でした。

【アミューズメント企画】

大音祭は本学の学生だけでなく地域の方々からもたいへん親しまれています。ミレニアムホールでは大阪音楽大学付属音楽幼稚園やザ・カレッジ・オペラハウス少年少女合唱団による合唱が行われることもあり、ご家族でご来場されるお客様が多く見られました。そこで、幅広い年代の方々、とくにお子様にも楽しんでいただけるよう、多彩な企画を用意しました。

実行委員によるストラックアウトや輪なげ、ロディレースなどの企画に加え、ポピュラーエンターテインメント専攻の学生が中心となって企画したクラブも新たに開催され、注目を集めました。



クラブの様子。本学学生による DJ パフォーマンス。

さらに、本学の音楽療法の授業を担当されている先生にご協力いただいた「みんなで一緒におとあそび」は、定員がすぐに埋まるほどの人気企画となりました。また、マラカス、カスタネット、太鼓、タンバリン、ギロなどさまざまな楽器作りを体験できるコーナーも子どもたちに大変好評でした。



写真は音楽療法「みんなで一緒におとあそび」の様子。

このように、音楽大学ならではの特色を活かし、来場者の皆さんに音楽の楽しさを体験していただくことを目指した企画を多く実施することができました

【大阪音楽大学 学生自治会について】

大阪音楽大学に通う学生の自治会組織。全学生より信任を得た役員が中心となり、音楽の素晴らしさをたくさんの方々にお届けするため、学内イベントの企画や学外イベントへの出演依頼の呼びかけ、学生が快適に過ごせる環境の提案、クラブ・同好会の管理なども行なっています。2025年度は「大音と学生の繋がり」「学生と庄内の繋がり」をテーマに『大音祭』のグレードアップや新たなイベントの開拓に挑んでいます。

【大阪音楽大学について】

2015年に創立100周年を迎えた関西唯一の音楽単科大学。「音楽で、はたらこう。」「ちから強く生きる音楽人を、ここから。」をスローガンに、従来のクラシック音楽家の育成にとどまらない、クリエイターやプロデューサーの輩出を掲げた新専攻・コースを次々と設置し、大学15専攻・短大11コースを擁する“音楽の総合大学”としていち早く時代のニーズに応えています。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

大阪音楽大学 学生自治会

メールアドレス : daion.jichikai@gmail.com